



Activity Report 活動レポート

Vol.14 / 2012.6 発行

ASPACコロンボ大会報告 2012.3.16～17



3月16日、17日にスリランカのコロンボでASPAC大会が開催されました。

日本からは、77名の方々（東京クラブから

12名、次期ASPAC開催地の広島クラブからは16名、名古屋クラブからは16名、熊本クラブからは10名など）が参加されました。

16日の午後に開会式、さまざまなダンスなどが披露されましたが、なかでも耳の不自由な子ども達のダンスパフォーマンスが素晴らしかったです。2日目の総会はフォーマルな儀式で、議長はマレーシアの女性でトントンと進み、ガバナー報告、規約改正などが行なわれました。私共に関係することとして、ASPACの開催時期は3月と4月と規約に定められていますが、2014年がASPAC創立50周年、東京クラブも50周年、マカオの大会で国際年次総会と開催時期を合わせられるように3月から7月までの間に変更になりました。マカオで国際大会が開かれる予定です。また、小田会員（元日本地区ガバナー、元国際理事）が次回の次期議長に選出されました。

今回初めての試みだと思いますが、開会に先立ち、

16日の午前中に、キワニスカフェが開催されました。色々なクラブの方が集まり、自分のクラブの活動についてテーブルを囲んでディスカッションするもので、突っ込んだ話が出来て、役に立ちました。私のテーブルは台湾、マレーシア、スリランカの人達で、マレーシアではダウン症の取り組み、スリランカでは栄養不良の子どもに対する援助活動をしているという話がありました。

また、17日の閉会式では、パフォーマンスが行われ、日本は、広島クラブのリーダーシップで「世界の国からこんにちは」と「瀬戸の花嫁」を合唱し、堂々1位を獲得しました。

最後に、私が感じたことは、各国とも非常にエリミネイトに対する支援の熱が上ってきていることです。台湾のガバナーはほとんど英語を話されませんが、出て来る英語はただ一言「エリミネイト」と叫んでいました。日本でもそろそろエリミネイト熱を発症の方が良いかなと思いました。（堀井紀壬子会長）



ASPACコロンボ大会に初めて参加して

キワニスの国際会議に参加するのも初めてなら、スリランカという国へ行くのも初めてでした。日本から週1便しかないスリランカ航空の直行便に乗りましたが、それでも約10時間の長旅でした。思ったより遠く、しかも、時差が3時間30分と端数がつくので、時計を調整するのに一苦労しました。

会議はコロンボ市内のシナモン・グラウンド・ホテル

で行われました。日本からの参加者が多かったので一応通訳が付きましたが、これが要領を得ない。耳が多少慣れた頃には終わってしまいました。語学力の未熟さを改めて思い知らされた次第です。

しかし、そう深刻な議題があるわけなし、社交的、親睦的な「大会」として、キワニスの国際的な広がり、繋がりを体感させていただいた貴重な経験でした。

それに加え、せっかく珍しい国へ行くのだからという事で、A、H、Iの各氏と一緒に、ガイド付きの車で4泊の国内旅行をしたのが楽しかった。古代からシンハリ族の王朝が栄えた仏教国のスリランカには世界遺産になっている遺跡があちこちにあり、これらを廻る旅です。具体的には島の中北部のアヌラダプタ（BC5世紀頃の最古の王朝跡）、シーギリヤ（岩山の頂上に王宮跡、途中の岩肌に美女のフレスコ画、5世紀）、ポロンナルワ（10～12世紀の王朝跡）、ダンブッラ（1世紀から始まった石窟寺院）、そして島の中央部のキャンディ（15世紀から300年続いたシンハリ最後の首都）を廻り、さらに英国統治時代に始まった紅茶畑を見て、紅茶工場を改装したホテルに泊まりました。

内戦停止から間もないこともあり、道路の整備が遅



れていますが、ホテルは立派なりゾートホテルがあり、欧米人の旅行者が大勢いました。スリランカの人達は7割が仏教徒だけに穏やかで、しかも大変親日的です。これからは日本からの観光客も増えるに違いないと思います。（緒方謙二郎副会長）

東日本大震災 被災者支援事業について

東京キワノスクラブが昨年9月に行った東日本大震災によって被災した水産高校7校への支援について、それぞれの水産高校から報告書が届きました。

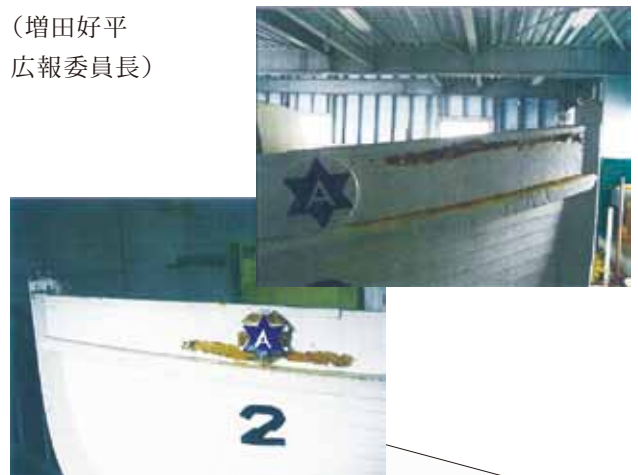
具体的には、青森県立八戸水産高等学校、岩手県立宮古水産高等学校、岩手県立久慈東高等学校、岩手県立高田高等学校、宮城県立気仙沼向洋高等学校、宮城県水産高等学校（石巻）、福島県立いわき海星高等学校の7校ですが、それぞれ、授業に使う教材の整備や課外活動に必要な備品の整備に使い、大変、役立っているとのことでした。

例えば、青森県立八戸水産高等学校では、被災したカッター2隻の内1隻の修理を行い、水産基礎や実習に使えるようになり、更に、今年度の支援金で残りの

カッター1隻の修理を行う予定とのことでした。

また、福島県立いわき海星高等学校では、生徒達が復興と鎮魂の願いを込めて取り組んでいる「チームじゃんがら」で使用する太鼓と鉦の購入に充てたとのことでした。

（増田好平 広報委員長）



「慰霊の泉」 春季清掃会の報告

2012. 3. 27

今年度の靖国神社「慰霊の泉」春季清掃会は3月27日午後2時から開催され、21名が参加した。

筆者は清掃用の軍手を持参して、今回初めて参加したが、当日は靖国神社の清掃員が「慰霊の泉」の清掃をしておられ、出番はなかった。しかし、先輩の女性会員から「あなたは初めての参加ですから、「慰霊の泉」の周辺の落ち葉をきれいにして下さいな」と声を掛けられ、会員の方々と一緒に気持ち良く竹箒で周辺を清掃して当日の清掃会は終了した。

私事で恐縮ながら、東京での生活を始めて40余年になるが、靖国神社内に入るのは当日が初めてで、散

会後に神社に参拝すると共に、施設を見学する機会を得た。今回の清掃会のお陰で、今まで遠い存在であった靖国神社が随分身近なものになったと思う。

(大東健治会員)



「慰霊の泉」 献納記念昇殿参拝に参加して 2012. 4. 3

4月3日、靖国神社「慰霊の泉」献納記念昇殿参拝が行われました。愚生、昨年8月にキワニスクラブに入会したものの歳末清掃会にも行けず、「慰霊の泉」の関

連行事は是非出席しようと思慮していました。靖国神社の昇殿参拝は人生初体験でした。堀井会長の玉串奉奠に続いて二礼二拍手一礼、会社行事等で昇殿参拝は数多く行っている筈ですが相当緊張していました。キワニスの諸先輩と一緒に、国のためにと、亡くなっていった方々の御神霊を偲び格別の気分になったのでしょうか。

参拝後、「慰霊の泉」に向かいました。想像していたより大きなオブジェです。激戦地の戦跡の石の収集は誰も納得するでしょう。戦没者の多くが故国の母を想い清い水を求めながら・・・というのも妙に説得力があります。集合写真を撮って解散しました。37名が参加しました。桜は三分咲き程度で午後からの嵐に耐えられるかなどと気にしつつ会社に向かいました。

(石井亜佳理会員)



エリミネイト・プロジェクト Web 会議の開催 2012. 4. 10 ～母子破傷風撲滅運動への取り組み～

昨年7月、国際キワニスは、世界から母子破傷風を撲滅するために5年をかけて1億1千万ドルの募金活動を行うエリミネイトプロジェクトをスタートさせました。

破傷風と云うと最近の日本では関心の持たれにくかった事柄ですが、毎日160人の乳児の命が奪われている現実があります。救われる命が存在し、1.8ドル(140円)で母の将来と共に守れるのです。募金目標額は6,100万人の母と子を助けることになり、同時に地球上から事実上の撲滅を意味します。

ELIMINATE

Kiwanis eliminating maternal/neonatal tetanus



国際キワニスの推進体制に合わせ、日本地区でも地域コーディネーターに横山太蔵会員が、日本地区コーディネーターに北里光司郎会員が、東京デヴィジョン・コーディネーターに堀井紀壬子会員が、また各クラブにクラブ・コーディネーターがそれぞれ任命されて、取り組みが始まっています。

そうした中、4月10日に、効率面からWebを活用し、クラブ・コーディネーターを対象としてオリエンテーショ

ンが行われました。

趣旨は、エリミネイトの基本的な考え方と日本地区における推進計画についての理解を深めることです。

会議に際し、齋藤日本地区ガバナーから「何事もまず足元を固め、コンセンサスをつくること、その上で一斉に活動開始というやり方が得意、いま力強くテイクオフすべきタイミングを迎えています・・・」とのコメントが有りました。

また、北里地区コーディネーターからは「実際に募金活動をして下さる会員の方々と日常直接接しているクラブ・コーディネーターの役割が大切」とのお話がありました。各クラブの取り組み状況の紹介や、現場としての意見交換も有り、内容の濃い2時間でした。

なお、当クラブは、モデルクラブ及び100Kの申請を行うことが役員会で決定されました。モデルクラブとは、会員一人平均750ドル(約6万円)を5年間で達成することです。



今後様々な機会を通じて募金活動をお願いして参ることになります。

クラブ・コーディネーターとしての役割をしっかりと認識し、会員の皆様との話し合いを通じながら、撲滅運動の推進役として、お手伝いをしてまいりますので、宜しくお願い致します。

(松本一紀エリミネイト・クラブ・コーディネーター)

平成 24 年ファミリーデー 2012. 5. 25

今年のファミリーデーは、「破傷風から途上国の母子を守ろう～エリミネイト～」というサブテーマを掲げ、5月25日(金)に、東京丸の内の銀行倶楽部で開催されました。

まず、午後5時30分からのバザーでは、宮古水産高校でつくられた「さんまの缶詰」等々、瞬間に売り切れる人気商品が続出しました。

5時50分、堀井会長の開会挨拶のあと、ヒクソフエロー、ゼラーの表彰があり、緒方副会長の乾杯の

音頭で懇親の宴が始まりましたが、この宴には横浜キワニスクラブ会員の方4名を含めて94名の会員・御家族の方々が参加されました。



食事を楽しみながら暫しの歓談のあと、アトラクションの部では、歌手・花木さち子さんの美しい歌声が会場内を魅了し、盛大なアンコールの拍手が湧き起こりました。

最後はお楽しみの福引大会。今年も人気の家電製品、ホテル宿泊券、フラワーギフトカードなどの賞品が当たるとあって、藤沢みなみさんが抽選する当選番号が発表されるたびに歓声とため息につつまれました。

楽しく盛り上がった中で、予定の時刻となり、実行委員会からのお礼の挨拶をもってお開きとなりました。

当日のバザーの売上げ、ご寄付、福引券の売上げ等の合計額は1,023,530円となりました。国際キワニスが全世界で展開しているエリミネイト・プロジェクトに寄付させていただきます。

なお、当日は開会に先だってキワニスドールづくりの会を開催。多くの会員並びにご家族の方々が参加され29個のドールが出来上がりました。

(近石康宏事業企画委員長)

初めてキワニスドールを作って 2012. 3. 16

3月16日、例会の後のドール作りに初めて参加しました。初参加は緊張しますし、恥ずかしくもあります。例会の後に製作というチャンスを与えていただいたので、参加できました。

私たちのテーブルには、5人ほどが座りました。3人の方が経験者で、大変優しく作り方を教えてくださいました。「綿は細かく千切るのです。端の方から詰

めてください。均等に行き渡るようにしてください」。その優しさに、緊張感と恥ずかしさは、すぐ消えてなくなりました。20分ぐらいで一個目が出来上がりました。事務局の方が、私たち初参加者の作品を手にと



て、「凸凹があるとうまく顔が書けないのです」と言いながら直してくださいました。

続けて、もう一つ作りました。3月でしたが、結構汗ばみました。ちょっとした達成感も味わいました。ふと、私の作ったドールはどの児の所へ行くのかな、その児に笑顔と希望をお与えくださいますように、と願いました。

それからしばらくして、昨年の大津波で被災地から押し流されたサッカー・ボールがアラスカ沖沿岸に漂着、アメリカ人が発見したことが、報じられました。高校生の持ち主も特定され、直接手渡される予定との

ことです。このニュースは、当事者の方々はもとより、世界の多くの人々に感動を呼び起こしました。私は思わず「サッカー・ボールの絆力」と口ずさみました。キワニスドールの絆力を信じて、また製作に参加したいと思います。



(廣瀬権会員)

金町学園でのドール作り 2012. 3. 4、5. 20

3月4日(日)および5月20日(日)の両日、東京愛育苑金町学園へお邪魔しました。

入所している聾啞のハンデを持つ子どもたち約20名ならびに職員の皆様と一緒にドールを作ることになったのです。

最初にご連絡を頂いて濱崎園長先生にお会いし、キワニスドールのお話をさせていただいてから実現までには約1年間の園長先生のご苦勞が有りました。

きっかけはNPOの集会有り、その会議で園長先生がキワニスドールのことをお聞きになったとか。そしてキワニスドールを知るにつけ、何としても子どもたちを制作に携わらせて見たいとお考えになったそうです。障害を持つ自分たちが、ドールを通じて病気で闘う子どもたちのために役立つことができる、それが実感できれば大きな自信に繋がるのではないかと。

ただ、大きな制約もありました。カリキュラムに組み込むことは出来ない上に、強制も無理、いかに生徒一人一人の意欲を掻き立てるかが難しい点でした。

そして、時間をかけて生徒の意欲を高め、職員も巻き込んだ今回のドール作りは事情のある子を除き全員参加で実施出来たのです。園長先生のリーダーシップは勿論ですが、職員の皆様のご協力も大きかったと思います。本当に熱心に制作して頂き誠に有難うございました。

なお、詳細につきましては園長先生に今回のキワニスドール・シンポジウムでの発表をして頂きましたので、シンポジウム冊子をご覧いただきたいと思います。

今回のドールを作る会で何より心に残ったことは、生徒や職員の皆様と一緒に頂いたお昼のカレーライスの味と、拙い手話で生徒に語りかけた時に小さな拍手をもらったことです。余談ながら、最初に手話の挨拶をしたところ、園長先生に言葉をきちんと音に出して下さい、と厳しく注意されたことも。

両日とも、星、高坂両会員が参加して下さいました。

(松本一紀会員)

東大病院小児病棟訪問記 2012. 2. 29

2月29日、東京は雪が降り続く悪天候の中、すべてこぼさないようヨチヨチ歩きで東大病院に着きました。

病院に入って、そのスケール、人の多さ、予定診察者が数千人と正に日本を代表する病院だと驚かされた次第です。



当日は、東大病院小児外科病棟の福田看護師長さんからキワニスドールが使用されている状況を見に来ませんかと声をかけていただき、是非ということで、高坂ボランティア活動委員長、松本前ボランティア活動委員長、星、事務局の4人で訪問しました。

小児外科は検査、手術、集中管理など一貫して行なうことを基本としておりました。対応する小児の年齢は3歳から10歳とのことでした。

また、小児病棟の「独自目標」を掲げ、「検査、手術に当たっての不安をやわらげる」、「手術後のケアを通し、子ども達を泣かせないでいける看護」を目指しておられました。

この目標にキワニスドールが大きく寄与している実績をマニュアル、写真で説明していただきました。具体的には、

1. キワニスドールは検査、手術のプレパレーションに際し、事前に親御さんに説明し、納得いただいた上で使用している。
2. 検査、手術への不安については、子どもさんは当然のことだが、親御さんの不安も大きい。そこで、事

前の説明のポイント、ポイントのところキワニスドールが使われております。そのお蔭なのか、手術室の雰囲気や白衣、マスクの先生も怖がらず、手術室でもほとんど泣かないそうです。もちろんドールも一緒です。親御さんの不安解消にもキワニスドールが役立っています。これは新たな認識でした。

3. キワニスドールはほとんどの子どもさんが自分で絵を描き、白地のドールは両面描けるし、ペイントが良く映えるので、使い勝手がありますよとのコメントで、うれしい評価をいただきました。
4. ということで、キワニスドールはなくてはならない存在で、子どもさん、親御さん、看護師の皆さんに愛されています。特にキワニスドールのソフトな感触はすばらしく、気持ちを込めてつくっていただき、ありがたい言葉に本当にうれしくなりました。

最後に特に感銘を受けた話がありました。

「病院は検査、治療に当たり、最大の努力をしているが、個人の心の中には入れない。

この心の中にキワニスドールはごく自然に入って、やすらぎ、癒しをもたらしている。ここが違うのです。病院にとってキワニスドールは離せません。」

これから、もっと心を込めてたくさんのドールをつくり、皆さんのお役に立たなくてはと、新たな気持ちをもって帰った次第です。

(星利樹キワニスドール・シニアアドバイザー)



調布城山保育園におけるキワニスドールの活用 2012. 3. 12



3月21日、私自身は3回目となるキワニスドールのお届けにお邪魔しました。

松本園長先生のご案内で、保育室を順番に覗かせてもらうのですが、お昼寝中の年少組の部屋では、大部分の子がドールを脇にして眠っていました。

お昼寝直前の部屋を訪れた

時です。突然見知らぬおじさんが入って来たので、最初固まっていたのですが、園長先生が「お人形さんを作って下さる方ですよ～」と声をかけて下さったら、一人の子が自分の入れ場所からドールを手にし「これ、私のお人形だよ」と話しかけてきました。すると、何人かが近づいて来てそれぞれにしゃべり始めます。意外に、人懐っこい園児たちです。

松本園長先生がドールを利用しようと思われたのは、もともと教育の一環に人形を使ってみようと考えられているときに、医療関係者からキワニスドールの話を聞かれ、園児にも活用できるのでは、と事務局に連絡して下さったのが最初です。

2度目からは私が直接持参し、園児たちの様子を押

見しながら、先生方のお話を伺って来ました。

ドールを通じて、物を大切にする、自分と他人の違いを理解し相手を思いやる、ことを園児たちに伝えたいとの園長先生のお考えのほかに、副次的効果として、保護者に作ってもらうことで安心感や愛着を強める、などが挙げられています。当然のこととして、ドール活用に当たっては、保護者にキワニスクラブ並びにドールについて十分に説明し、ご理解を得た上で絵付けや着付けをお願いしているとの事です。

ドール本来の活用の趣旨から、現在、他の保育園でのドール活用のご要望にはお応えしておりません。学校でも2クラス、実際に、ドールを利用して普通授業を行い、極めて有益な効果も確認しておりますが、こちらも積極的に広げる予定はしておりません。

そうした経緯の中で、園長先生のドール活用の狙いの効果をしっかり確認させて頂くための実証的な意味合いから、当分の間、お届けしますとのお約束になっているのです。

園児たちの友達として可愛がられているドール、情操教育の一助としてのその効果のほどを園長先生とともに今しばらく見守って行きたいと考えます。

(松本一紀会員)

キワニスドールが紹介された

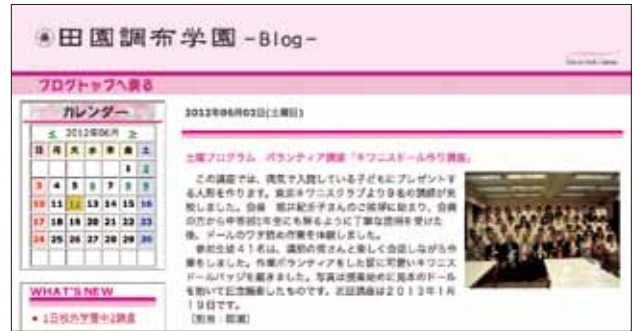
2012. 1. 21、4. 20、6. 2

東京愛育苑金町学園の「金町学園だより」と田園調布学園中等部高等部の「学園ブログ」にキワニスドールが紹介されました。

東京愛育苑金町学園の「金町学園だより」(第26号(平成24年4月20日))では、「人と人の繋がり大切さを学びましたーキワニスドールの取り組みを通じて」との見出しの下で、3月4日のクラブの指導を受けながらドール作りに励む児童らの様子が紹介されています。



田園調布学園の学園ブログでは、1月21日にブログに、「土曜プログラム「キワニスドール作り」講座」として紹介されています。そして、実は、6月2日のブログにも同様の紹介があります。[\(https://www.int-acc.net/chofu/2012/01/\)](https://www.int-acc.net/chofu/2012/01/) (増田好平広報委員長)



新入会員オリエンテーションに参加して 2012. 3. 12

新入会員のためのオリエンテーションという目的の集まりでしたが、事実上の懇親会であり、諸先輩の方を身近に感じることができました。

お誘いを受けて何となく入会しましたが、それにしても隔週毎の例会とは、結構、厳しいと思っていましたが、オリエンテーションにより肩の力が抜けたようです。結局、オリエンテーション当日はケーナ、サンポーニャと歌で大騒ぎし、カラオケ

で参加する羽目になってしまいました。が、会員諸氏の名前を覚えるよい機会になりました。

キワニス入会以前から、日向ぼっこ（養護施設出身者の支援）、さんきゅうハウス（立川を中心とし



たホームレスの人達のひとり立ち支援）といった NPO の会員を続けていますが、キワニスクラブの強い組織力とは比べ物になりません。

歴史のあるキワニスの社会貢献活動を参考にさせていただき、各 NPO の継続・発展にもつなげてゆきたいと考えておりますので宜しくお願いいたします。

(山口憲明会員)



フェイスブックの薦め

これは5月19日鳴り物入りで米国ナスダック市場に株式上場したフェイスブック株の購入をお勧めするものではありません。こちらの方は公募価格がオーバーバリューだったのか、現在の株価は公募価格を大幅に下回っています（6月4日現在）。

ここでお勧めしたいのはフェイスブックという SNS (Social Network System) のことで、世界で8億人（2011年9月）の人々が洋の東西、老若男女を問わず利用しているインターネットのネットワーク・システムです。誰もが、いわゆるお友達になれば、世界中の人と人との絆を広げることのできるもので、アラブの春の政変を陰で支えたとも言われています。

実は国際キワニス本部でも、このフェイスブックをだいぶ前から使って来ました。オープンな情報を流すことから、特定のグループ内の情報共有の場として使用されています。

この度、日本地区でもフェイスブックを有効に使えないかを試すため、ネット上にキワニス日本地区とキワニス日本地区エリミネイトの2つのグループを設定いたし

ました。

前者は日本地区のクラブの会員の方々にそれぞれのクラブの例会、奉仕活動、イベント活動などを掲示してもらい、ほかの会員の皆様と共有して貰おうという目的を持っています。

後者はエリミネイト募金活動の日本地区のリーダーの皆さんにコミュニケーションの場を提供するものです。しかし、多くの会員の皆様に参加していただかないと十分役に立ちません。

最初は取っ付きにくいかも知れませんが、勇気を出して先ずフェイスブックにアカウントを作ってみてください。その情報を事務局にご連絡いただければ、グループ加入へのご招待を差し上げます。それに応諾してもらえれば、あなたはそこからメンバーとなり、キワニス活動に関する興味深い情報に接することが可能になります。

先ずは次の URL : <http://www.facebook.com/> を開いてもらいアカウントを開くことから始めましょう。

(吉田浩二事務総長)

2012年2月から5月までの活動

2012年 2月	2	宝塚観劇会星組公演
	3	第 2113 回例会(講師：原田淳氏)
	5	第 31 回文楽を楽しむ会
	7	火曜会
	9	第 40 回日本酒を楽しむ会
	11	チェロとピアノのコンサート(浜離宮朝日ホール)
	12	第 31 回文楽を楽しむ会
	14	火曜会
	16	第 10 回ワインを楽しむ会
	17	第 2114 回例会(講師：滝田栄氏)
	17	第 55 回囲碁愛好会
	19	第 31 回文楽を楽しむ会
	19	第 15 回落語鑑賞会
	20	第 55 回国際懇話会(講師：立川敬二氏)
	21	火曜会
	27	新入会員オリエンテーション
	28	火曜会
29	東大病院見学	
3月	2	第 2115 回例会(講師：河野憲壯氏)
	3	静嘉堂文庫美術館講演会「新刀の変遷 国広から貞一まで」
	4	金町学園キワニスドールをつくる会
	6	火曜会
	8	第 41 回日本酒を楽しむ会
	13	火曜会
	14	東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団公開リハーサル見学
	15-17	第 37 回 ASPAC コロンボ大会
	15	宝塚観劇会花組公演
	16	第 2116 回例会(講師：西館好子氏)
	16	キワニスドールをつくる会(例会場)キワニスワンデー
	27	火曜会
	27	靖国神社「慰霊の泉」春季清掃会
	30	第 2117 回例会(講師：北代淳二氏)
	30-4/1	第 3 回美術を楽しむ会(アートフェア東京 2012)

4月	3	靖国神社「慰霊の泉」献納記念昇殿参拝
	3	火曜会
	6	第 2118 回例会(講師：堀口直子氏)
	10	火曜会
	11	春季ゴルフ大会(武蔵 CC)
	12	第 42 回日本酒を楽しむ会
	15	第 17 回落語鑑賞会
	17	火曜会
	19	宝塚観劇会月組公演
	20	第 2119 回例会(講師：松田正人氏)
	20	第 56 回囲碁愛好会
	23	第 56 回国際懇話会 (講師：山内昌之氏)
	24	火曜会
	28	戸栗美術館「柿右衛門展」学芸員による展示品説明
30	静嘉堂文庫美術館講演会「岩崎コレクションに日本絵画」	
5月	8	火曜会
	9	戸栗美術館「柿右衛門展」学芸員による展示品説明
	10	第 43 回日本酒を楽しむ会
	12	戸栗美術館「柿右衛門展」学芸員による展示品説明
	13	第 33 回文楽を楽しむ会
	15	火曜会
	17	宝塚観劇会雪組公演
	17	東京スカイツリー見学会
	18	第 2120 回例会(講師：尾身幸次氏)
	18	第 57 回囲碁愛好会
	20	第 33 回文楽を楽しむ会
	20	金町学園キワニスドールをつくる会
	20	大相撲夏場所観戦会(第 8 回)
	22	火曜会
23	迎賓館見学会	
23	戸栗美術館「柿右衛門展」学芸員による展示品説明	
25	第 2121 回例会(第 63 回ファミリーデー)銀行倶楽部	
25	キワニスドールをつくる会(ファミリーデー)	
29	火曜会	

2012年6月から9月 今後の予定

2012 年 6 月	1	第 2122 回例会(講師：國松孝次氏)	
	2	田園調布学園キワニスドールをつくる会	
	3	静嘉堂文庫美術館講演会「静嘉堂コレクションとの出会い」	
	4	JCB 社会貢献プログラム ドールをつくる会	
	5	火曜会	
	10	第 4 回歌舞伎鑑賞教室	
	12	火曜会	
	13	戸栗美術館「初期伊万里展」学芸員による展示品説明	
	14	第 44 回日本酒を楽しむ会	
	15	第 2123 回例会(講師：染谷ゆみ氏)	
	15	第 58 回囲碁愛好会	
	16	第 4 回キワニスドール・シンポジウム	
	17	第 18 回落語鑑賞会	
	18	第 57 回国際懇話会(講師：田中伸男氏)	
	19	火曜会	
	22	第 2124 回例会(講師：玉置章文氏)	
	23	戸栗美術館「初期伊万里展」学芸員による展示品説明	
	26	火曜会	
	28	宝塚観劇会宙組公演	
	28-7/1	第 98 回国際キワニス年次総会ニューオーリンズ大会	
	30	工藤重典(フルート)のコンサート	
	7 月	3	火曜会
		6	第 2125 回例会(講師：本川淳一京都クラブ会員)
		10	火曜会
		12	第 45 回日本酒を楽しむ会
		15	「フラの女神」カノエ・ミラーの帝国ホテルディナーショー
		17	火曜会
		19	サマーパーティ
		20	第 2126 回例会 社会公益賞贈呈式 / ガバナー公式訪問
		24	火曜会
25		戸栗美術館「初期伊万里展」学芸員による展示品説明	
31		火曜会	

8 月	2	宝塚観劇会星組公演	
	3	第 2127 回例会(講師：上條茉莉子会員)	
	7	火曜会	
	17	第 2128 回例会(講師：下出憲一氏)	
	21	火曜会	
	28	火曜会	
	30	宝塚観劇会月組公演	
	31	第 2129 回例会(講師：宮 健三氏)	
	9 月	4	火曜会
		7	第 36 回国際キワニス日本地区年次総会和歌山大会
9		第 34 回文楽を楽しむ会	
11		火曜会	
13		第 46 回日本酒を楽しむ会	
14		第 2130 回例会(講師：北里光司郎次期ガバナー)	
14		第 59 回囲碁愛好会	
16		第 34 回文楽を楽しむ会	
18		火曜会	
21		第 2131 回例会((社)東京キワニスクラブ定時総会)	
23		大相撲秋場所観戦会(第9回)	
24		第 58 回国際懇話会(講師：田中均氏)	
25		火曜会	
29		東京キワニスクラブ青少年教育賞表彰式・講演会	

キワニスドールとは

身長約 40cm で体重約 50g、とても素朴な形で、目も鼻も口もありません。ただ一つ身に付けているのは、キワニスマークの小さなラベルだけです。

しかし、このちょっと風変わりな、ノッペラボウの小さな人形が普通の玩具の人形とは違った方法で、全世界の病気の子どもたちに大きな力を与えています。キワニスドールは、病気の子どもたちと仲良しになり、見守ることが使命です。

白い木綿生地にポリエステル綿を詰めただけのキワニスドール。ノッペラボウなのは、使う人が顔を描いたり洋服を描いたりすることができるようにしているためです。また、お医者さんや看護師さんが、治療の説明のために、人形に絵を描くこともできます。さまざまに描かれた人形は、病気のその子だけの人形になります。

キワニスドールは、メルボルンのナナワディング・キワニスクラブで、1988年に初めて作られました。メルボルンからオーストラリア全域で広がり、さらに1994年に北欧にも伝播しました。日本地区では2001年11月から取り組み始めました。現在では全世界のキワニスクラブでドールを制作して病院などに寄贈するという活動を行っております。

2009年から毎年、キワニスドールの利用実例などについての情報共有をはかり、作る側と利用する側双方の課題を議論し合う場として、キワニスドール・シンポジウムを開催しています。

キワニスドール (Kiwaniis Doll) を平成 18 年 7 月 14 日に、商標登録いたしました。

エリミネイト・プロジェクトについて

キワニスはユニセフと共同で世界から母子破傷風を撲滅する活動を展開しています！

2015年までに1億1千万ドルを募金し、6,100万人の母子の命を救う活動です。日本のキワニスクラブはこの活動に賛同し、募金活動を行っております。

母子破傷風についての基本データは

- 破傷風は、9分に1人、毎日、160人の赤ちゃんの命を奪っている。
- UNICEFでは、2000年からこれまで20か国で母子破傷風の撲滅に成功し、残る40か国での撲滅を国際キワニスとUNICEFが協力して行い、世界からの撲滅を目指すこととなった。
- 破傷風ワクチン3回を妊産婦に注射すれば赤ちゃんまで免疫が得られる。
- 1回60セント、計3回1.8米ドル(約140円)の注射で母と将来の赤ちゃんの命を守ることが出来る。
エリミネイト・プロジェクトは、6,100万人のお母さんと赤ちゃんを助けることが出来ます。



日本は破傷風撲滅の先駆者—誇りを持ってこの活動を推進しよう！

破傷風撲滅というと、日本にはあまり関係がないと思われる方もいるかと思いますが。実は、破傷風菌と戦い、世界に先駆けて、破傷風菌の純粋培養に成功し、破傷風の免疫体を発見し、血清療法を確立したのは、日本の細菌学者北里柴三郎博士でした。日本はこの分野での世界の先駆者です。今回のキワニスクラブでの母子破傷風の撲滅に対するエリミネイト・プロジェクトのスタートに当たっては、既に北里研究所と北里大学より、昨年の日本地区千葉大会での特別講演等も含め特別の支援を受けています。日本地区は誇りをもってこの活動を推進しましょう。

キワニスクラブとは

キワニスクラブは、“世界の子どもたちのために”を合言葉に奉仕活動を行う民間の世界的な団体です。1990年からは、特に幼い子どもたちのための奉仕活動に力を入れています。名称のキワニスは、デトロイト周辺に住んでいたアメリカ原住民の言葉“Num-Ke-Wan-is”(みんな一緒に集まる)に由来します。

キワニスクラブは、1915年1月21日米国デトロイト市で生まれました。当初はアメリカとカナダで発展していましたが、1963年にはヨーロッパ3都市に広がり、現在世界の約90ヶ国、8,000のクラブ、約60万人の会員が国際キワニスを構成し、その本部は

米国インディアナポリスにあります。

日本では、東京キワニスクラブが1964年1月24日、アジア太平洋地域で最初のクラブとして設立されました。次いで名古屋、大阪、広島、神戸、仙台、札幌、横浜、高松、福岡、京都、千葉、和歌山、新潟、泉州、埼玉、西宮、渋谷、福山、熊本、静岡、金沢、松江、鹿児島、芦屋、福島、大分、千代田の順に生まれ、現在28のクラブで会員は約1,600名で活動しています。東京キワニスクラブは、1967年2月27日社会奉仕団体として初めて、厚生大臣より社団法人の認可を受けました。

社団法人 東京キワニスクラブ 会長 堀井 紀壬子 〒101-0047 千代田区内神田2-3-2 米山ビル

Tel: 03-5256-4567 Fax: 03-5256-0080 e-mail: tokyokiwaniis@japankiwanis.or.jp URL: <http://www.japankiwanis.or.jp/tokyo>